



特長

試料充填部分が放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」対応のマリネリ容器で、豊富な経験をもとに高品質の0.7L及び2Lの容器を実現しました。

さらに、これらの体積の中間にあたる、1Lモデルも設定しました。当社製ソフトウェアGamma Station (Ver. 1.2.2以降)を用いることで全ての容器に対して適切な自己吸収補正が実現できます。また、厳格な品質管理のもと、日本国内で唯一、寸法が保証¹されています。

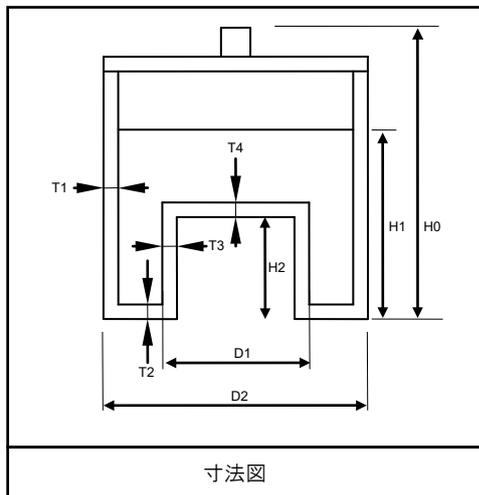
モデル DS-C0701A-000 / DS-C1002A-000 / DS-C2001A-000は、それぞれ試料充填部分の体積が0.7L / 1L / 2Lのマリネリ容器で、ゲルマニウム半導体検出器を用いた環境放射能測定のための試料容器として最適です。試料体積ごとに最適な容積の容器を選択することでそれぞれの体積で高い検出効率を得ることができます。容器の内面は滑らかですので、試料充填・測定後に洗浄、汚染がないことを確認することで繰り返し使用することができます。

購入前のご注意

- (1) 文部科学省放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に記載されている寸法(試料充填部)と同等のマリネリ容器はDS-C0701A-000 及びDS-C2001A-000 です。
- (2) 放射能定量のための測定以外に使用しないでください。試料の長期保存には使用できません。
- (3) 検出器エンドキャップに荷重がかかる状態での測定は行わないでください。内部と外部の圧力差が発生する恐れのある試料の充填及び輸送を行うことはできません。
- (4) 均一な試料を均一に充填してください。不均一な試料では正常な分析結果が得られません。
- (5) 突起を有する試料を充填しないでください。容器が傷つき汚染の除去を容易に行うことができなくなります。
- (6) 酸、アルカリ、酸化剤、還元剤又は、有機溶媒の充填並びにこれらを用いた洗浄又は清掃はできません。
- (7) 使用/保管温度範囲を逸脱する高温下での使用、洗浄、殺菌は行わないでください。
- (8) 密封線源の作製目的など高度な密封性能を必要とする場合は密封性能及びそれを維持できる期間についての評価を行って下さい。

仕様

モデル	DS-C0701A-000	DS-C1002A-000	DS-C2001A-000	
品名	0.7L マリネリ容器	1L マリネリ容器	2L マリネリ容器	
寸法 ⁽¹⁾ (mm)	H0(最大高さ)	196	196	218
	T1	4	5	5
	T2	3	3	3
	T3	2	2	2
	T4	2	2	2
	D1	89	89	89
	D2	130	145	170
	H1	105	107.7	127
H2	80	80	80	
内容積 ⁽²⁾ (ml)	700	1000	2000	
内蓋	なし	なし	なし	
材質	透明アクリル樹脂			
対応検出器エンドキャップ径	70~83 ⁽³⁾			
使用/保管温度範囲 ⁽⁴⁾⁽⁵⁾ (°C)	5~35			
保管湿度範囲 (%- RH)	0~80 (結露なきこと)			
校正用線源の製作	可能 ⁽⁶⁾⁽⁷⁾			
自己吸収補正 ⁽⁸⁾	対応			
対応クライオスタット	垂直に固定可能なタイプ(CFG-SV/CFG-PV4/CFG-SJ/CFG-HJ/CFG-X-COOL-III 等)			
検出器との相対位置	容器凹部にエンドキャップ(カバーを含む)が密着する程度			
内袋	使用可能 ⁽⁹⁾			
無償保証期間	設けない(消耗品につき納入後1週間以内の初期不良のみ対応)			



- (1) 使用されているアクリル材料の寸法公差(各寸法で最大±1mm程度)の範囲において、寸法公差が許容できない精密な測定が必要な用途には使用しないでください。
- (2) 充填位置を示す赤色線は試料充填位置を示す目安であり正確な充填体積を示すものではありません。正確な体積での充填が必要な場合は試料を計量し充填してください。
- (3) エンドキャップ寸法がΦ83の検出器(検出器モデル名に-83を有するもの、例として GEM50-83)ではアクリルカバーを装着した状態で容器を使用する事はできません。
- (4) 直射日光、紫外線のあたる場所で保管しないでください。
- (5) 温度サイクルのある場所で保管すると接着部分の劣化が加速します。
- (6) 線源作製事業者の定める条件による。
- (7) 効率校正のために放射能標準を収納する容器と試料測定のための容器は本カタログ掲載の同一モデル品の使用を推奨。推奨容器以外での測定はサポートの対象外です。
- (8) 自己吸収補正は弊社製ソフトウェアの仕様で定める方法で実施することができます。
- (9) 内袋を使用する場合、内袋の装着及び除去を無理に行わないでください。無理な力を加えると接着部分の剥離が発生します。内袋は市販品が利用可能ですが、分析結果に与える影響に関してはお客様自身にて評価のうえご使用下さい。

< 2019年7月 Rev4.31 >